

# 事前アンケート 【院内の緩和ケアの質向上に関する取り組み】

「まあそう思う」、「そう思う」と回答した施設数 N=53

	n (%)
<b>● 院内の連携体制</b>	
・ 緩和ケアリンクナースが十分な役割を果たしている	31 (58.5)
<b>● 院内全体の緩和ケアの質の改善</b>	
・ 質改善に係る数値データを把握している	30 (56.6)
・ 緩和ケアに関する薬剤や医療機器等の使用状況を把握している	31 (58.5)
・ 目標達成のための行動計画を立てている	28 (52.8)
・ 目標達成状況を評価している	28 (52.8)
・ 目標達成の評価に基づき新たな課題を明確にしている	23 (43.4)
・ 緩和ケアの提供体制に関する定量的な評価結果を公表している	17 (32.1)

(該当施設が6割未満の項目抜粋)

事前アンケート

## 【院内の緩和ケアの質向上に関する取り組み】

### ● 施設全体について

#### 取り組みの工夫

- 苦痛のスクリーニングを活用し、プライマリーチームによる基本的緩和ケアの提供体制をシステム化（愛知）
- リンクナースの各部署での実践報告会を1回/年開催し、取り組みを共有（岩手）
- 苦痛のスクリーニングやACPなど、医師・看護師・リンクスタッフで構成される緩和ケア作業部会を通して施設全体で推進（九がん）
- リンクドクターとリンクナース合同での勉強会を開催（茨城）
- 病室のTVに搭載する患者・家族向けの緩和ケアに関するDVDを作成（がん研）

#### 取り組みに関する問題点

- 緩和ケアの質向上を目的とするキャンサーボードの対象患者のリストアップの方法
- 外来での主治医主導の苦痛のスクリーニングの実施率にばらつきがある
- 学習会への参加者が少ない

事前アンケート

## 【院内の緩和ケアの質向上に関する取り組み】

### ● 緩和ケアセンターについて

#### 取り組みの工夫

- 緩和ケアに関する満足度調査を行い、PDCAサイクルの運用に活用（青森）
- 緩和ケア専門家へのアクセス改善のため、相談窓口（PHS）の一本化（駒込）
- 日本緩和医療学会のセルフチェックプログラムに参加（多数施設）
- ESMO-DCの認定要件クリアに向けて取り組んでいる（千葉）

#### 取り組みに関する問題点

- 利用者増加に伴い、活動範囲の拡大が困難
- 診療実績やスクリーニング結果等の事務処理作業が煩雑かつ負担が大きい

# 事前アンケート 【第三者を加えた評価体制の導入】

## ● 第三者を加えた評価について



## ● 実施済，計画中の具体的な実施手段

n=19

n(%)

会議や堅守会などの対面による議論

5(26.3)

相互訪問による実地評価

11(57.9)

特定メンバーによる実地評価

5(26.3)

その他

4(21.1)

## 事前アンケート 【第三者を加えた評価体制の導入】

### 取り組みの工夫

- わらしべ長者方式で相互訪問を実施予定（テーマ：苦痛のスクリーニングと緩和ケア研修会）（東京）
- 施設規模等が似た3-4施設ごとのグループを構成し、相互チェックを開始（福岡）
- できていないことの指摘ではなく、どうすればできるか方策検討のための相互訪問を計画（愛知）
- 県内の拠点病院間での実地交流に関する規約や実施手順を作成し、実地口中を開始（徳島大）

### 取り組みに関する問題点

- 評価指標や基準が不明瞭である
- 各施設で緩和ケアに係る予算や人員が異なり、基準の設定が難しい
- 訪問日程の調整が大変である
- スタッフへの負担が心配
- 効果が不明